

第 158 回長野県市長会総会 会議録（公開用）

令和 8 年 4 月 22 日（水）13：00～17：10

長野県自治会館 2 階「大会議室」

1 開会

（小松事務局次長）

定刻になりました。ただ今から第 158 回長野県市長会総会を開会いたします。私は、市長会事務局次長の小松でございます。このあと、議長選出までの間、会議を進行させていただきますのでよろしくお願いいたします。なお、本日の出席者は、名簿のとおりでございますが、会長の白鳥伊那市長、及び、江沢飯山市長はご欠席のため、それぞれ副市長さんにご出席いただいておりますので、ご承知ください。

2 会長挨拶

（小松事務局次長）

それでは、会長に代わりまして、小泉副会長よりごあいさつを申し上げます。

（小泉市長会副会長）

副会長の小泉でございます。白鳥会長に代わりましてごあいさつ申し上げます。

さて、信州の山々に、若葉がまぶしい季節となりました。本日は、第 158 回 長野県市長会総会を開催いたしましたところ、市長の皆様におかれましては、年度初めの大変お忙しい中、ご出席をいただき、誠にありがとうございます。また、長野県副知事 関昇一郎様をはじめ、ご来賓の皆様におかれましては、ご多忙のところご臨席を賜り、心から御礼を申し上げます。

はじめに、3 月 29 日に投開票のありました上田市長選挙におきまして、斉藤達也市長さんの初当選を心からお祝い申し上げます。のちほど、ごあいさつをいただきますが、健康にご留意の上、市政のみならず、広域的な課題に対しましても、新しい感性と行動力を存分に発揮され、19 市並びに長野県の発展にお力をいただきたいと存じます。

さて、今年に入り、アメリカとイスラエルによるイラン空爆にはじまり、イランによる中東の主要なエネルギー拠点の攻撃、さらにはホルムズ海峡の封鎖により、世界の石油・天然ガス供給が大きく滞っており、物価の高騰や様々な資材不足も深刻な状況になりつつあります。化石燃料に依存する日本経済の脆弱性が露呈しており、再生可能エネルギーの拡大など、改めて脱炭素への取組みの重要性を考えさせられるところでもあります。そうした中、会期中の第 221 回国会の特別会では、過去最大規模となる総額 122 兆円余りの令和 8 年度予算が成立し、この予算により、小学校給食の保護者負担軽減をはじめ、高齢化や少子化対策、賃金と物価の好循環を促進する施策など、地方が直面する諸課題の解決に向けたさまざまな予算が盛り込まれております。支援をする現場や待ち望む人々に対して、成立した予算が一刻も早く届くよう、スピード感を持った執行に期

待するところであります。

また、県におきましても、令和8年度予算では、人口減少など、時代の大転換期を迎える中、確かな暮らしを守り、ゆたかな社会を創るための「しあわせ信州創造プラン3.0」を着実に推進するとして、これまで市長会が要望してまいりました子育て支援や人口減少対策など、新たな視点の施策を多く盛り込んでスタートしていただけますことに感謝を申し上げるところでございます。市長会といたしましても、住民の安全な暮らしや、地方の強い経済をつくり上げるために、国の動向を注視するとともに、県と市町村との連携のもと、必要な対応を行ってまいりたいと考えております。来たる5月21日には、北信越市長会総会が、諏訪市さんにおいて、岡谷市さんと茅野市さんの協力のもと、開催されます。ペーパーレス化を新たに取り入れるということで、こうした取組が長野県から始まることをとても誇らしく思うところであります。諏訪市長さんをはじめ、各市の職員の皆様には、大変なご苦勞をいただきますがどうぞよろしくお願いいたします。

本日は、各市からご提出いただきました国・県等に対する要望に関する議題等のご審議、白鳥会長のご退任に伴う新たな会長の選任など、事務局からの協議事項のほか、「県からの施策説明」、「知事との意見交換」、加えて、総会終了後には、県の皆さんとの「懇親会」を開催いたします。県のお考えや取組みを直接お聞きするとともに、市長さん方のご意見や各市の状況を、阿部知事をはじめ、県の皆様にお伝えし、連携を強固なものとするための貴重な機会でもありますので、ぜひとも活発な議論をお願いいたします。最後に、本日の会議が、有意義なものとなりますようご祈念申し上げ、開会に当たりましてのあいさついたします。

3 当選市長紹介

(小松事務局次長)

続きまして、本年2月に開催した市長会定例会以降に当選し、着任された市長をご紹介いたします。3月29日に投開票されました上田市長選挙におきまして、初当選をされました斉藤達也市長です。おそれ入りますが、その場で一言ごあいさつを頂戴したいと存じます。

(斉藤上田市長)

皆さんこんにちは。ただいまご紹介いただきました上田市長の斉藤達也でございます。4月9日に就任いたしまして、まだ10日ばかりですが、今回のこの市長会に向けてのあらゆる議案のレクにつきましても、担当課の方からしっかりと聞いてきておりまして、先ほど小泉副会長の方からも、広域的な課題についても積極的にというお話がありましたが、まさに地域をまたいで共通する課題があると感じております。私自身、民間での経験が長く、公民連携といいまして、民間の皆様とこれまでの行政だけの運営というよりは、民間企業ですとか、大学ですとか、NPOですとか、様々な機関との連携が必要だということを訴えて今回の選挙に挑んでいるのですが、まさに自治体同士の市を跨ぐ連携に関しても、本当に大切なことだと感じておりますので、皆様にご指導いただきな

がら、精一杯頑張りたいと思います。最年少ということで聞いております。思いだけは本当に強く持っておりますのでしっかりと努めてまいります。どうぞ皆様よろしく願いいたします。

(小松事務局次長)

ありがとうございました。新たに着任された市長のご紹介は、以上でございます。

4 来賓祝辞、紹介

(小松事務局次長)

続きまして、本総会のため、たいへんお忙しい中、臨席を賜りましたご来賓の皆様からご祝辞をいただきたいと存じます。はじめに、長野県副知事 関昇一郎様、よろしくお願いいたします。

(関副知事)

ただいまご紹介いただきました副知事の関でございます。長野県市長会の皆様には、日頃から県政の推進、そして県民生活の向上に向けてご尽力をいただいておりますことに心から感謝申し上げます。本日は知事所用により、この総会の冒頭、出席ができませんので、私から変わってご挨拶を申し上げさせていただきます。また、この後の意見交換では、阿部知事も楽しみにして出席をさせていただきますので、また、夜も含めて忌憚なくご意見をいただければと思います。市長会の皆様には日頃からお世話になっておりますが、今回特に、斉藤市長、新たにご当選されたということで、おめでとうございます。引き続き、県と一緒に他の市長さんとともに、県民生活の向上に向けて、取り組んでいただければと思いますので、よろしくお願いいたします。

さて、今年は、長野県発足から 150 周年となります。8 月 21 日がちょうど 150 周年の日であります。記念式典を松本市のハーモニーホールを会場とさせていただいて、式典を行いたいと思っております。各市長の皆様にもご都合のつく範囲でぜひご出席を賜ればと思っておりますので、よろしくお願いいたします。今回は、松本を中心会場として東信、北信、南信にも、それぞれサテライト会場を設けて、県民の皆さんになるべく多くの方にご覧をいただくような記念式典を予定しております。また、併せて記念イベントとして、各地域で行われるイベントについても位置づけをさせていただいております。そういった意味では県民の皆さん、一緒に 150 周年をお祝いしたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。また、この 150 周年の前後になりますが、来年の DC、デスティネーションキャンペーンに向けたプレ DC と言っていますが、1 年前に夏の期間、DC に向けた観光誘客の全国的な宣伝をスタートさせていただきます。来年には、善光寺ご開帳がありますし、また、巡るスワンということで、NHK の朝ドラもスタートします。合わせて、夏の期間 3 か月間を DC、デスティネーションキャンペーンとして大規模な観光キャンペーンを繰り広げたいと思っておりますので、ぜひ、それに向けた各地の観光支援のブラッシュアップをお願いし、長野県を全国に広めていきたいと思いま

す。また、その翌年には、2年後になります。諏訪の御柱祭ですとか、それから信州やまなみ国スポットということで、各会場の皆さんにお願いをしておりますが、全国からも大勢おいでいただくようなイベントを予定しております。そんなことでこれから長野県が全国に向けて発信する機会が増えてまいります。ぜひ一緒によろしくお願ひしたいと思っております。

さて、少し県政のお話をさせていただきますが、先ほど小泉副会長からもお話があったように、イランを巡る情勢により、非常に物価高騰、資材高が広がっております。中には価格高騰だけではなくて、ボトルネックによって製品が、原材料が手に入らないということで、各業界にも大きな影響がございます。そういった意味では、全国知事会を通して、国とも意見交換を重ね、そして、必要な政策を国へ要望書とともに、県として必要な予算についても、今後考えていきたいと思っております。当面、当初予算で様々な物価高対策を講じておりますが、また、こんな取組をとということで、お話をいただければ前向きに考えていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

それから、今年の6月からは、宿泊税がスタートします。制度化に当たっては、市長会の皆さんにも様々なご意見をいただき、また独自課税をされる市町村の皆さんの調整をさせていただきましたが、6月からスタートするということで、課税という問題でありますので、様々な課題もあろうかと思っています。そこをクリアしながら、そして全国そして県内でお泊まりいただく皆さんのご理解をいただけるように、県としてもしっかりとした広報に努めてまいります。何よりも、この宿泊税で長野県の観光地がバージョンアップした、非常に良い観光地としてさらに発展したというふうに言っていただけるような取組をすることが大事だと思っております。県で執行する部分もありますが、市町村の皆さんでも、それぞれ独自に交付金等を活用して、宿泊税の活用事業を展開していただきます。今日また後ほど、担当課からの説明がございますけれども、ぜひ県と歩調を合わせて、長野県全体のこの宿泊税の活用についてお話いただければと思っております。

それからもう一つは地域未来戦略であります。今週月曜日に、国から内閣官房の局長においでいただき講演会をしていただきました。これまで地方創生の取組ということで、どちらかというと社会課題の解決がメインの政策を行っていましたが、これに加えて社会課題の解決は当然、地方創生という観点から続けていますが、経済の活性化に軸足を置いた、そうした形で地域未来を作っていく戦略を策定するというので、国からもお話をいただいております。現在国では、強い経済を実現するといった観点からこうした重点分野を中心に様々な産業政策を積極的に展開するというふうに計画しております。長野県としても、これを好機と捉え、いかに地域未来戦略について、県としての産業の発展を遂げていくかということ、先行して議論をさせていただいております。後ほどまた知事との意見交換でもテーマとなっておりますので、ご意見を賜われればと思っておりますが、長野県の経済をさらに発展させるために、市町村の皆さんのご意見をお聞きして、県としての戦略策定を行ってまいりたいと思っておりますので、ぜひ忌憚ないご意見をいただければと思っております。以上、様々な県政の課題について、ご挨拶申し上げます。

したが、何よりも、長野県として、県と市町村が方向性を一致させながら、県民生活の向上に向けて取り組むことが大切だと思っておりますので、ぜひご協力をお願いしたいと思います。

最後になりますが、長野県市長会のこの会議の成功と、皆様のご健勝ご多幸をご祈念申し上げまして挨拶とさせていただきます。本日は総会の開催おめでとうございます。

(小松事務局次長)

関副知事、ありがとうございました。続きまして、長野県議会議長依田明善様、よろしくをお願いいたします。

(依田県議会議長)

ただいまご紹介を賜りました県議会議長の依田明善でございます。私、また2年続投ということで承認を頂戴いたしまして、また市長の皆様から叱咤激励をいただきながら、1年間頑張っていきたいと思っておりますのでどうぞよろしくお願い申し上げます。はじめに、今月19日に発生いたしました長野県北部を震源とする地震におきまして、被災をされました皆様方に、心からお見舞いを申し上げたいと思っております。

さて、本日ここに第158回長野県市長会総会が、ご関係の皆様多数ご列席のもと、盛大に開催をされますことを心からお慶びを申し上げたいと思っております。市長会の皆様には、日ごろから住民福祉の向上と地域社会の発展に多大なご尽力をいただいておりますことに、この場をお借りいたしまして心から敬意を表し、感謝を申し上げたいと思っております。誠にありがとうございます。そして、昨年4月の総会以降に実施された選挙におきまして当選を果たされた皆様、誠にありがとうございます。今後ますますご活躍されることを心からご期待を申し上げたいと思っております。

さて、ご案内のとおり、昨今の我が国では、少子化、人口減少の急激な進行と、それに伴う地域や産業の担い手不足を初め、激甚化、頻発化する自然災害や長期化する物価高騰に加え、昨今の中東情勢の不安定化による原油価格の上昇や、石油製品の供給不足など、様々な危機が複合的に訪れ、先を見通すことが極めて困難な時代を迎えておるわけでございます。まさに時代の転換期を迎える中、それぞれの地域が将来にわたって住民の暮らしを守り、更なる発展を遂げていくためには、県と市が緊密に連携し、知恵を出し合いながら柔軟に対応していくことが必要であります。豊富な経験と卓越した指導力を持つ地域のリーダーである皆様方におかれましては、今後とも県議会にも忌憚のないご意見をお寄せいただくとともに、各地域がそれぞれの特徴を生かした地域づくりを推進するため、一層のお力添えを賜りますようお願いを申し上げる次第でございます。県議会といたしましても、県民生活の更なる発展、向上に向け、市町の皆様を初め関係者が力を合わせ、課題に向き合っていくことが重要であると考えており、皆様とともに、鋭意、力を尽くしてまいる所存でございます。

結びに、市長会並びに各市のご発展を心からご祈念申し上げまして、お祝いの言葉とさせていただきます。本日は誠にありがとうございます。

(小松事務局次長)

依田議長、ありがとうございました。続きまして、長野県町村会会長羽田健一郎様、よろしくお願いいたします。

(羽田町村会会長)

ただいまご紹介いただきました町村会会長を務めております長和町の町長の羽田健一郎でございます。本日、市長の皆様、ご列席のもと、第 158 回長野県市長会の総会が盛大に開催されるに当たりまして、県下 58 町村長を代表いたしまして、一言お祝いのご挨拶を申し上げさせていただきます。先ほどご紹介ございましたが、先の市長選挙におきまして当選されました上田市の斉藤市長さんには、改めてお祝いを申し上げますとともに、上田市も振興発展のため一層のご活躍をお祈りいたします。また市長の皆様におかれましては、日頃、広域行政の中核的な立場において、地域の発展のため、先頭に立ってご尽力をされておりますことに対し、この機会に改めて感謝を申し上げる次第であります。初めに先週の土曜日、18 日に発生をいたしました大町市で最大震度 5 強、長野市で弱の地震では、幸い人的被害はないとのことでしたが、屋根瓦の落下や壁のヒビ、屋内でのものの落下などの被害が多数発生いたしました。被害を受けられた方々に謹んでお見舞いを申し上げます。また、今週月曜日には三陸沖を震源とする地震が発生しており、引き続き地震への備えと、地域防災力の強化に努めていかなければならないというふうに思う所存でございます。また現在の社会情勢は、日中関係の停滞や中東情勢など、不透明さを増しており、国内においては、更なる物価の高騰や地域経済の冷え込みなど、市町村の行財政運営に深刻な影響を及ぼす事態が懸念されるところでございます。特に中東情勢に影響される原油価格の高騰や、エネルギー危機は住民生活を直撃する重要な問題でありますので、一刻も早い事態収拾を強く願うところでございます。

一方、国の令和 8 年度予算では、地方財政対策において、一般財源総額が前年度比 3.7 兆円増の 67.5 兆円へと拡大し、過去最高水準が確保されるとともに、地方交付税総額も前年度比 1.2 兆円増の 20.2 兆円と大幅に増額をされ、自治体の財政運営の安定性が強化をされております。また、地域未来基金など、新たな財政の創設や、インフラの老朽化対策などの措置も盛り込まれておりまして、具体的な対策を通じて、地域の自主的な、かつ持続的な発展に向けた環境が整えられつつあるものと考えております。しかしながら、依然として進行する人口減少下にあって、これに伴う各分野での人材不足、特に農林業を始めとする地域産業の担い手の高齢化や後継者不足がますます深刻化しております。とりわけ中山間地域は、食料の安定供給や国土の保全といった、人々の生活や生命に直接関わる大変重要な役割を果たしており、これら地域の維持、存続、活性化は、人口減少に対応した地域づくりを進める基盤となるものと存じております。国におきましては、関連政策を力強く推し進めていただくよう期待をするところであります。

他方、長野県は、先ほどお話がございました、今年 150 周年という記念すべき節目を

迎えます。これまでの歩みの中で、それぞれの地域、それぞれの市町村が互いに手を取り合い、高め合ってきた軌跡の元に、今の長野県があらうかと存じます。個性豊かで、魅力あふれるそれぞれの市町村は、信州の原風景を守り抜く砦であり、今後も新たな価値を創造していく場であり続けたいと願うところでございます。市長会の皆様とは、これまでも市町村共通の課題に対し、様々な場面で協力連携をし、共に行動をさせていただいておりますが、それぞれの市町村の振興発展こそが、県そして国の発展に繋がっていくものと強い思いのもと、今後とも一層連携を強化しつつ、県の全体の振興発展に繋げてまいりたいと存じておりますので、市長会の皆様の一層のご理解とご協力を賜りますようお願いを申し上げます。結びに、長野県市長会のますますのご発展と、ご活躍、市長の皆様のご健勝、ご活躍を祈念申し上げまして祝辞とさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。

(小松事務局次長)

次に、本日ご臨席いただいておりますご来賓の長野県企画振興部市町村課の皆様を紹介させていただきます。市町村課長石澤彰郎様、市町村課行政係長土屋明久様、同じく行政係主事宮坂光毅様、以上の皆様でございます。

(小松事務局次長)

ここで、関副知事、依田県議会議長、羽田町村会会長におかれましては、他の公務のためご退席されます。ご多忙のところありがとうございました。

(小松事務局次長)

次に、本日の総会でございますが、非公開の部分を除き、会議録をホームページ上で公開する会議としております。事務局において作成した会議録をご確認いただいた後、ホームページに掲載させていただきますので、あらかじめご承知くださいますようお願いいたします。

5 議長選出

(小松事務局次長)

次に、議長の選出でございますが、今回は事務局での開催のため、慣例では会長にお願いするところでございますが、代わって小泉副会長にお願いしたいと存じますがよろしいでしょうか。

(異議なしの声があり)

(小松事務局次長)

小泉副会長、よろしくお願いいたします。

(小泉市長会副会長)

それでは、私が議長を務めさせていただきます。有意義な会議となりますよう、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

(小泉市長会副会長)

議事に入る前に、自治労長野県本部から申し入れがございますので、お聞きいただきたいと思います。自治労長野県本部の皆さんをご案内してください。

(自治労長野県本部)

お疲れ様です。自治労長野県本部副委員長の伊藤と申します。本日は貴重なお時間を割いていただき、ありがとうございます。私達は自治体職場で働く仲間で構成をする労働組合の役員です。本日は市長会への申し入れということでお時間をいただきましたけれども、今後ともより良い労使関係を構築する中で、誠意ある対応をよろしくお願いいたします。申し上げて冒頭のご挨拶とさせていただきます。よろしくお願いいたします。

自治労長野県本部市職評議会議長を務めております奥村と申します。駒ヶ根市職員労働組合で執行委員長の任に就いております。本日は大変貴重なお時間をいただきまして誠にありがとうございます。日頃より、地方自治の発展と住民福祉の向上にご尽力されていることに対しまして、心から敬意を表します。本日提出いたします申し入れ書は、自治労長野県本部市職協議会に結集する組合員の総意として、お願いするものでございますので、ぜひとも実現に向けてご検討をよろしくお願いいたします。当申し入れ書については、賃金手当等について等の8項目を労使双方が連携して取り組むべき喫緊の課題と捉え、各支所からの意見を基に作成しました。近年、公務員志望者の減少や早期離職者の増加が大きな問題となっていますが、その原因の多くは、現在の待遇への不満や、業務量の増加に見合っていない人員配置によるものであり、これにより、公務職場が選ばれなくなっている状況がございます。度重なる大規模災害は、行政職場の慢性的な人員不足を改めて鮮明にしております。私達職員は、地域住民の暮らしを守り支える地域公共サービスの担い手として、限られた人員の中、全力で業務を遂行しております。しかし、多くの職員が疲弊している状況では、本来のあるべき姿である安定した持続可能な自治体運営が維持できません。このような状況から、貴市長会におかれましては、地域の公共サービスを支える私達現場の実態を真摯に受けとめていただき、労働環境の改善のため、健全な労使関係に基づき、申し入れ事項の実現に向け、特段の努力を払われますよう、申し入れをいたします。

それでは申し入れ書の内容について、主要な点に絞って、趣旨説明をさせていただきます。まず1、賃金労働条件に関すること、(1) 労働諸条件に関する要求についてです。①増加する行政需要に対応しつつ、地方の創生を図る体制を確保するため、慢性的な人員不足の状況を是正するとともに、緊急時及び災害時に十分な対応ができる適正な人員配置を行うこと。続いて(2) 賃金に関する要求の①賃金の改正については、民間給与実態の正確な把握と制定時並びに他の地方公共団体の給与その他の受領実情を考慮し、公

務員労働者とその家族の生活の維持改善を図るという使用者責任を果たすことを基本に、組合と十分に交渉、協議し、労使合意に基づいて実施をすること。また現行の人勸制度は、個々における労働基本権制約に対する代償措置であることを、労使交渉の基本とし、自治体財政の維持改善に職員人件費を求めるような対応を行わないこと。④寒冷地手当、地域手当について国が諸手当に関わる特別交付税の減税措置を廃止したことを踏まえ、人材確保の観点に立った自治体独自の維持改善の措置を行うこと。⑨全ての職場において、36協定の締結、改正を行うこと。なお、労働基準法別表第1に該当しない非現業の官公署においては、36協定またはそれに準ずる文書を締結すること。続いて(3)定年の段階的引き上げに関する要求についての④再任用職員の一時金改善について、総務省に働きかけを行うこと。(4)会計年度職員制度に関する要求について。①本来の任期の定めのない正規職員が行うべき業務については、正規職員を配置すること。その際には、県に働く会計年度職員用職員を正規職員へと移行、正規化を前提とすること。②処遇については、制度の趣旨と、総務省通知の指摘を踏まえ、各自治体の正規職員との均衡を基本とし、給料、期末手当、勤勉手当またプラス人勸があった場合の4月遡及等に正規職員と不合理な格差がある場合は、早急に是正をすること。

以上、主要な部分を述べさせていただき、その他項目多数ありますけれども、時間も限られておりますので、申し上げた事項について、強くお願いいたしまして、私どもからの申し出といたします。よろしくお願いいたします。

自治労長野県本部現業協議会議長の柴田と申します。引き続き、申し入れ書の(5)に関わり、現業職場について発言いたします。現業職員は、長年の経験と知識を生かし、責任を持って住民の安全サービスの質を守っています。2025年度は、自治労の現業職員新規採用者は全国で1260人が採用され、直近の10年間で約800人の採用増となっております。しかしながら、1980年代から続く民間委託や退職者補充による人員削減が進んだ結果、現業職員の年齢が中高年層に偏っており、速やかな是正が必要です。昨今の大規模地震災害や豪雨災害等の対応においては、現業職員がいる自治体ではない自治体に比して、迅速な災害対応がなされていたとの報告があります。また、全国的には近年の物価高騰、最低賃金上昇の影響を受けた委託先企業の撤退などによる再公営化や、社会的な要請でもある適切な価格転嫁を進めるためには、委託費の増額が必要であり、民間委託自体を担うところも増えています。長期的なコスト、リスク管理を再検討し、現業職場を直営とすることの意義が見直され、結果として、全国的に現業職員の採用が伸びているのではないのでしょうか。今後、正規職員の定年による大量退職を控える中で、業務の継承を円滑に進めるためには、退職補充は正規職員で行うことが必要です。改めて現業職場の重要性を再確認いただき、現業職場の実態把握、現場の意見を十分に踏まえ、継続的な現業職員採用を検討いただくようお願いいたします。以上です。

(小泉市長会副会長)

皆さんが、日々の組合活動を通して、職員のためにご尽力しておられますことに敬意を表します。ただいま申入れのありました事柄は、勤務条件の改善を進める上で、どれ

も重要なことであると承知しています。自治体の行財政を取り巻く環境は、依然として厳しく、全ての事柄を実現することは難しくとも、それぞれの市において、できる限り善処しておりますことをご理解いただけますと幸いです。人員不足の課題では、業務の維持を会計年度任用職員による対応とせざるを得ない状況がありますが、現業職も含めて、公務の各組織に対して「人」が来ていただけない現状が大きく影響していると思われます。人材の確保に取り組んではおりますが、職員数の大幅な増加が見込めない中、カスハラ対策やワークライフバランスなど、魅力と働きがいのある職場であり続けるよう、皆様にもご協力をお願いするところでもあります。また、賃金に関する申入れについては、近年の民間の大幅な賃上げに呼応して、人事院勧告も大きく改訂されています。今後とも地域の実情を踏まえた県の人事委員会の勧告に、どのように反映していくのかを見極め、お互いに情報を共有した交渉・協議が必要と考えているところであります。本日の皆様からの申し入れは、基本的には各市で対応することが適当であり、このことはご出席の市長さん方も承知しています。各市に共通する重要な事柄などは、必要に応じて国・県に要望したいと考えています。本日は、大変ご苦勞様でございました。

6 会議

(1) 会務報告

(小泉市長会副会長)

それでは、会議事項に入ります。はじめに、「会務報告」を議題とします。事務局長から簡潔に説明をお願いします。

(福田事務局長)

はい。事務局長の福田でございます。どうぞよろしくお願いいたします。着座でご説明申し上げます。資料1、会務報告でございますが、7ページを御覧いただきたいと思います。2月3月の会議でございます。まず定例会でございますけれども2月5日に自治会館において開催をされ、令和8年度の市長会の事業計画案、歳入歳出予算案等についてご協議をいただきました。また当日、特別セミナーといたしまして、プラチナ構想ネットワーク長野支部の顧問としてお勤めをいただいております信州大学の古山教授から講演をいただいたところでございます。次に役員会でございます。7ページの下段からでございますけれども、総会に先立ち開催をされたところでございます。続いて8ページをご覧いただきたいと思います。北信越市長会でございますけれども、この関係では次回の総会を諏訪市で開催されますが、準備のための事務局長会議を2月に諏訪市において開催をしたところでございます。残りについてはご確認をいただければと思います。説明は以上でございます。

(小泉市長会副会長)

会務報告につきまして、ご質疑等はございますか。

(発言は無く)

(小泉市長会副会長)

ご発言がございませんので、この件につきましては、以上といたします。

(2)議題審議

(小泉市長会副会長)

次に、「議題審議」に移ります。事務局長から説明をお願いします。

(福田事務局長)

本日の議題は、資料の 12 ページから 14 ページの一覧のとおり、1 月 23 日に開催された副市長・総務担当部長会議における審議を経て、本総会に送付された 27 議題をご審議いただきます。それ以降の「緊急を要する議題」としては、各市からの提出はございませんでした。慣例では、県に直接関係する議題は、個別にご審議いただくところではありますが、副市長・総務担当部長会議送付議題は、あらかじめ県のご説明や審議を経ていることから、会議時間の短縮のため、提案市からの個別審議の希望があった議題のみを審議することとさせていただきます。事前に個別審議の希望を確認した結果、特に希望はなく、ただし、取下げの申出が 1 議題ございました。よりまして、はじめに取下げの 1 議題をご審議いただき、残る 26 議題を一括でご審議いただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

I 各市提出議題

II 副市長・総務担当部長会議提出議題

(小泉市長会副会長)

それでは、事務局長から説明がありましたとおり、各市からの提出議題はありませんでしたので、副市長・総務担当部長会議から送付されました 27 議題につきまして、はじめに取下げの 1 議題を審議し、その後に残る 26 議題を一括で審議することによろしいでしょうか。

(異議なしの声があり)

(1)議題 27<取下げ>

(小泉市長会副会長)

それでは、資料 14 ページの取下げとして記載のある、議題 27「水道事業広域化に対する国の補助金交付制度の見直しについて」、事務局長から概要を説明してください。

(福田事務局長)

議題 27、資料通しページ 46 ページをご覧くださいと思います。長野市さん、上

田市さん、千曲市さんの3市から、国への要望議題として共同提案があったものでございます。ここにきて国において提案内容を満たす方針が明確に出されたことから、取下げのお申し出をいただいたものでございます。特にご異議がなければ取下げとさせていただきますと存じます。以上でございます。

(小泉市長会副会長)

共同提案市の各市長さんからは何かご発言はございますか。ご発言のある方は、マイクをお持ちしますので、挙手をお願いいたします。

(発言は無く)

(小泉市長会副会長)

市長の皆さんからは特に意見等はございますか。

(発言は無く)

(小泉市長会副会長)

(ほかに) 特に意見はないようですので、本議題につきましては、申出のとおり取下げることとしてよろしいでしょうか。

(異議なしの声があり)

(小泉市長会副会長)

ご異議がないようですので、本議題は取り下げることとします。

(2) 議題 1 ～ 議題 26

(小泉市長会副会長)

続いて、残る 26 議題を一括審議いたします。事前の発言の希望はございませんでしたが、市長さん方で、特にご発言がございましたら、お受けいたします。

(発言は無く)

(小泉市長会副会長)

ご発言がございませんので、県から、お伝えいただく事項がありましたら、ご発言をお願いいたします。

(発言は無く)

(小泉市長会副会長)

それでは、以上で質疑を終了し、採決に移ります。これらの議題は、副市長・総務担当部長会議の審議を経ております。つきましては、取下げの1議題を除き、26議題を、原案のとおり採択することとしてよろしいでしょうか。

(異議なしの声あり)

(小泉市長会副会長)

ご異議がないようですので、取下げの1議題を除き、26議題を採択することに決定いたしました。以上で、議題の審議を終了し、本日の議題審議の結果を事務局長から申し上げます。

(福田事務局長)

審議結果確認のため申し上げます。副市長・総務担当部長会議送付議題27件のうち、取下げの1件を個別審査、残る26件を一括審議させていただきまして、結果26件が採択となりました。以上でございます。

(小泉市長会副会長)

ただ今、事務局長から審議結果報告がありました。本日、採択いただきました各議題は、県へ要望するものと北信越市長会総会へ提案するものを事務局で整理、調整いたします。また、その対応は議長へ一任いただくことで了承をお願いいたします。

Ⅲ 事務局提出議題

1 協議事項

(1) 長野県市長会役員の選挙について

(小泉市長会副会長)

続きまして、事務局提出議題をご審議いただきます。はじめに、「協議事項」としまして、「長野県市長会役員の選挙について」を議題とします。白鳥会長が4月29日をもってご退任されることから、次期会長のほか、欠員となっている役員の選出について、長野県市長会会則第5条の規定により、事務局から説明をお願いします。

(福田事務局長)

はい。それではまず考え方等について申し上げます。資料2-1、48ページの方からご覧をいただきたいと思います。昨年に、令和7年度、8年度の役員ということでお決めのいただいたところでございますけれども、理事の土屋上田市長が4月9日に市長を退任され、また白鳥会長の4月29日をもってご退任することが決まったところから役員の改正が必要となったところでございます。続いて49ページの方ご覧をいただきたいと思います。長野県市長の役員の選任に係る申し合わせ事項でございます。会長につき

ましては(1)のとおり、会長、副会長は中南信ブロック、東北信ブロックから交互とし、総会で決定するとされております。従来、会長の任期中に市長を退任された場合につきましては、この東北信、中南信、交互にという枠組みは崩さずに、同じブロックの中からお後任を選任し、残任期間を務めいただくという慣例がございます。私ども調べた限りでは過去6回ほどそういう事例がございましたけれども、今回もそのような取り扱いにさせていただきたいと考えております。また、理事、監事につきましても中南信、東北信で同数との申し合わせがございますので、対象の選任等に伴いまして、以上、前例に基づいてお決めにいただくようにしたいと考えております。考え方の説明は以上でございます。

(小泉市長会副会長)

このことにつきましては、慣例によりまして本日の役員会において検討を行い、本日の資料の中でも既に(案)をお示ししているところですが、この点について皆さんからご意見がありますでしょうか。

(発言は無く)

(小泉市長会副会長)

特にないようでしたら事務局長から(案)について説明願います。

(福田事務局長)

はい。それでは本日配布をさせていただきました長野県市長会役員名簿案令和8年度と書かれた資料をご覧いただきたいと思います。4月20日にこの件につきまして前例を示しながらご意見を伺ったところでございます。会長につきましてはいずれの市長さんからも金子諏訪市長さんがご適任ではないかというご意見を頂戴しておりまして、御異論などはございませんでした。従いまして会長については金子諏訪市長さんをお願いしてはいかがかと考えております。なお、理事につきまして2名の選任が必要な状況となっております。これも東北信、中南信からお願いをするということで、駒ヶ根の伊藤市長さん、それから千曲市の小川市長さんにそれぞれお願いをしてはいかがかと考えております。なお、理事4名の方々にはそれぞれ部会長をご担任いただくこととなりますけれども、これも就任順にどの部会長を務めいただくかという決まりがございます。それに従いまして、社会環境部会長として今井茅野市長さん、経済部会長として伊藤駒ヶ根市長さん、危機管理建設部会長として小川千曲市長さんに、それぞれお願いをしたいという案でございます。それから監事でございます。1名、まず湯本中野市長さんをお願いをしたいというふうに考えております。なお、もう1名につきましては調整中でございまして、定例会に向けてまた調整をさせていただきお諮りをさせていただければと考えております。説明は以上でございます。

(小泉市長会副会長)

この件につきまして、ご質問等はございますか。

(発言は無く)

(小泉市長会副会長)

ご発言がございませんので、説明のあった案のとおり承認することとしてよろしいでしょうか。

(異議なしの声があり)

(小泉市長会副会長)

ご異議がないようですので、原案のとおりご承認いただき、それぞれの市長さんをお願いすることといたします。

(2) 長野県市長会の部会所属の指定について

(小泉市長会副会長)

次に、「長野県市長会の部会所属の指定について」を議題とします。事務局長から説明をお願いします。

(福田事務局長)

はい。それでは資料3、53ページをご覧くださいと思います。市長会部会所属の案でございます。部会長につきましては先ほどお話をいたしました理事の方にそれぞれお願いをさせていただきたいと思います。また、社会環境部会長を、これまで危機管理建設部会にご所属いただいております今井茅野市長さんをお願いする等々の調整がございまして、小泉小諸市長さんにつきましては、人数の均衡を図るために、今後、経済部会に所属いただくということでお願いをしたいと思います。この他、伊那市長さんについては新しい市長さんの名前を掲載させていただきました。令和8年4月30日からの部会所属案は以上でございます。

(小泉市長会副会長)

この件につきまして、ご質問等はございますか。

(発言は無く)

(小泉市長会副会長)

ご発言がございませんので、説明のあった案のとおり承認することとしてよろしいでしょうか。

(異議なしの声があり)

(小泉市長会副会長)

ご異議がないようですので、原案のとおりご承認いただき、それぞれの市長さんをお願いすることといたします。

(3) 長野県市長会から選出する各種団体等の役職について

(小泉市長会副会長)

次に、「長野県市長会から選出する各種団体等の役職について」を議題とします。事務局長から説明をお願いします。

(福田事務局長)

はい。続いて資料4、54ページの方をご覧くださいと思います。長野県市長会から選出する各種団体等の役職についてでございます。会長、それから部会長にそれぞれ多くの役職をお願いしております。それぞれ今回の交代によりまして引き継いでいただければという内容でございます。一つ一つ詳しくのご説明はいたしませんので、またご覧をいただければと考えております。2点だけ申し上げます。まず全国市長会の関係でございます。長野県から理事を1名ご推薦申し上げますけれども、これまで財政委員長ということで牛越市長さんに長くお勤めをいただきました。今後、次の全国市長会議以降でございますけれども、未経験の方をお願いをするということで、金子諏訪市長さんをお願いできればというふうに考えております。それから評議員につきましては、未経験の方を育成し、未経験の方がいらっしゃる場合は2回目をお願いするということで4名の方をお願いをしておりましたが、2名さらに選出することが必要になりましたので、中山安曇野市長さん、斉藤上田市長さんに評議員としてお願いし、ご推薦を申し上げたいと考えております。この他、長野県市町村職員共済組合の記述が54ページの下部にございますけれども、これも2期4年間それぞれ就任順をお願いをしているところでございますが、土屋前上田市長さんのご退任に伴いまして、今度新たに議員として佐藤飯田市長さんをお願いをし、またそれぞれの共済組合などのお役目についても繰り上げをお一つずつさせていただくという変更がございますのでご確認ください。説明は以上でございます。

(小泉市長会副会長)

この件につきまして、ご質問等はございますか。

(発言は無く)

(小泉市長会副会長)

ご発言がございませんので、説明のあった案のとおり承認することとしてよろしいでしょうか。

(異議なしの声があり)

(小泉市長会副会長)

ご異議がないようですので、原案のとおりご承認いただき、それぞれの市長さんをお願いすることといたします。

(4) 第 188 回北信越市長会総会について

(小泉市長会副会長)

次に、「第 188 回北信越市長会総会について」を議題とします。事務局長から説明をお願いします。

(福田事務局長)

はい。それでは資料 5-1 以降をご覧くださいと思います。通しページ 58 ページでございます。第 188 回北信越市長会総会及びその他の関連会議等でございますけれども、令和 8 年 5 月 21 日(木)、22 日(金)、諏訪市において開催をされます。会場はホテル 紅や等でございます。今回の北信越市長会総会では、新たな取組を行っていただくことにしておりまして、ペーパーレス化の試行的実施をさせていただきます。長野県市長会ではペーパーレス化は既に実施されておりますけれども、他の県にもご賛同いただきまして試行的実施をさせていただきます。事前に資料につきましてダウンロードのうえ準備をいただければと考えております。会議日程は、59 ページのとおりでございます。1 日目が諸会議、それから意見交換会、それから 2 日目が参加希望の方のみということでございますけれども視察がご覧のとおり予定をされております。この視察含めまして岡谷市さん、茅野市さんには大変ご苦勞いただくところでございますがどうぞよろしくお願いをいたします。それから総会の分科会にそれぞれ議案が付託されますけれども、分科会所属案について 60 ページに記載させていただきました。この分科会につきましては、順番にそれぞれの三つの分科会にご所属いただくということで、毎回お願いをしているものでございますが、今回につきましては長野県内における開催ということで、第 1 分科会から第 3 分科会までのそれぞれ委員長を、長野県から出すということにされております。第 1 分科会を佐久市長さん、第 2 分科会に茅野市長さん、第 3 分科会に駒ヶ根市長さんということで、それぞれ新しい理事の方々をお願いをしたいと考えているところでございます。所属等につきましては、61 ページ、資料 5-3 のとおりでございます。説明は以上でございます。

(小泉市長会副会長)

この件につきまして、ご質問等はございますか。

(発言は無く)

(小泉市長会副会長)

ご発言がございませんので、説明のあった案のとおり承認することとしてよろしいでしょうか。

(異議なしの声があり)

(小泉市長会副会長)

ご異議がないようですので、原案のとおりご承認いただき、市長さんには、北信越市長会総会への参加及びそれぞれの所属分科会へのご出席をお願いすることといたします。

以上で協議事項を終わりますが、最後に、諏訪市長さんから、次期会長として、また、北信越市長会総会の開催市として、併せてひとこといただけますでしょうか。

(金子諏訪市長)

はい。諏訪市長の金子ゆかりでございます。ただ今のご審議をもちまして、4月30日から白鳥市長さんの残任期間、長野県市長会会長の大役を仰せつかりました。本当にまだ経験不足で未熟でありますけれども、皆様のお力添えとご支持、ご支援、ご協力を賜りながら、何とか歴代会長や白鳥さんのようにはいかないですが、精一杯努めてまいりたいと思いますのでどうぞよろしくお願いを申し上げます。

また北信越市長会の開催市ということで準備を進めてまいりました。今回、諏訪市のみならず、岡谷市さん、茅野市さんと、隣同士の両市の皆さんにお力をいただいて、分科会あるいはエクスカッション等において一緒に取り組んでいただくことになった次第でございます。せっかく信州に北信越の市長の皆さんが来てくださるので、しっかりと落ちのないように対応してまいりたいと思っております。これもまた、長野県市長会の皆様には、本当に手助けをいただかなくてはなせる技ではございません。大変お世話になりますどうぞよろしくお願いをいたします。本日はどうもありがとうございます。

(小泉市長会副会長)

北信越市長会総会では、開催市となります諏訪市さんをはじめ、協力市の岡谷市と茅野市の皆さんにも、大変お世話になりますどうぞよろしくお願いいたします。そして、金子諏訪市長さんには、長野県市長会の次期会長ということで、大変お世話になりますが、私どももしっかりと補佐していきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

2 報告事項

(小泉市長会副会長)

続いて、「次回長野県市長会定例会について」、「第159回長野県市長会総会について」

及び「第 31 回県と市町村との協議の場について」を、一括して報告いたします。事務局長から説明をお願いします。

(福田事務局長)

はい。それでは資料 6、62 ページをご覧くださいと思います。今後の会議の予定について申し上げます。次回の長野県市長会定例会でございますが、全国市長会議の前日、東京都都市センターホテルにおきまして、6 月 9 日火曜日、午後 3 時 30 分から開催予定でございます。どうぞよろしくお願いいたします。また、第 159 回長野県市長会総会につきましては、8 月 27 日木曜日の開催でございます。持ち回りでお願いしている会議でございます、今回は伊那市さんで開催予定でございます。大変お世話になりますどうぞよろしくお願い申し上げます。それから第 31 回県と市町村との協議の場でございます。6 月 2 日火曜日、県庁において開催予定でございます、役員市の市長さん方のご出席をお願い申し上げます。説明は以上でございます。

(小泉市長会副会長)

この件に関しまして、ご質問等はございますか。

(発言は無く)

(小泉市長会副会長)

ご発言がございませんので、本件につきましては、ご承知いただくことといたします。報告事項は以上といたします。

3 その他

(小泉市長会副会長)

次に、「その他」としまして、「令和 8 年度公益財団法人長野県市町村振興協会の事業計画及び予算等について」、事務局長から説明をお願いします。

(福田事務局長)

はい、資料 7、63 ページをご覧くださいと思います。64 ページ以降に詳細に事業計画及び収支予算書をしてございますけれども、63 ページの方で概要についてご覧いただきたいと思います。このことにつきましては 2 月の定例会でも少しご説明をさせていただいたのですが、昨年度、サマージャンボの売り上げが全国的に低迷をいたしまして、特に販売時期に、全国で線状降水帯が多発したというのが大きな影響を及ぼしたということでございますけれども、長野県市町村振興協会への交付金収入も、5 億 4949 万円ということで前年度と比べて約 1 億円のマイナスということで、大きなマイナスとなったところでございます。これを受けまして今年度の事業計画収支予算において、若干、事業費の削減を図らざるを得なかった部分がございまして、例えば基金交付金が 4000 万

円の減、あるいは地域活動事業が 3000 万円の減、下の表のとおりでございますけれども、その他いろいろな助成先にもご協力いただきまして事業費の削減を図ったところがございます。これに対して、実は令和 8 年度のサマージャンボ宝くじでございますが、昨年の状況も踏まえまして様々な工夫を凝らすということとされております。従来のジャンボ、ミニの 2 併売から、新たな手法として、単価 500 円の宝くじを加えた 3 併売にするということでございまして、新たな 500 円の宝くじについてはプレミアムという名称で、賞金等も増額をされる見込みでございます。それから、発売計画額も 900 億円から 980 億円に増額をすると、それから、発売開始日も前倒しをいたしまして猛暑や線状降水帯などが避けられるような時期に設定するというようなことが計画をされております。このため若干交付金の増額を見込んでおりまして、6 億 7100 万円の増予算を組んでおります。この点につきまして大変期待をしているところでございまして交付がございましたら、また各市町村にお役立ていただくように努めてまいりたいと考えております。なお、事業等につきましては先ほど申し上げたとおり、当日の事業計画等またご確認をいただければと思います。説明は以上でございます。

(小泉市長会副会長)

この件に関しまして、ご質問等はございますか。

(発言は無く)

(小泉市長会副会長)

ご発言がございませんので、この件は以上といたします。ほかに事務局から何か報告などありますか。

(福田事務局長)

2 件お願いいたします。茅野市さんから資料提供をいただいております。ご説明をお願いいたします。それから、飯山市さんから野焼きなどの林野火災予防に関するご発言、それから原発の 50 キロ以内の市町村としての対策等についてのご発言をいただくということで、申出がございました。はじめに、茅野市さんからご説明いただければと存じます。

(今井茅野市長)

はい、お時間いただきましてありがとうございます。パンフレット、信州 4 大日本遺産周遊ガイドブックというのをお手元にあると思います。こちらについて若干ご紹介をさせていただきたいと思います。こうやって表紙だけ見ていただくと、いかにも長野県が作ったかのような仕様になっておりますけれども、これは長野県内の日本遺産に国の方で指定をされているエリアをご紹介したパンフレットになっております。作成したのは、茅野観光まちづくり推進機構というのがあるのですが、その各市町村の日本

遺産に関わる場所に声掛けをさせていただいて、信州４大日本遺産周遊促進協議会というのを立ち上げまして、そこで県の元気づくり支援金をいただいて作成をしたパンフレットということになります。開いていただきますと、四つの日本遺産に指定をさせていただいたエリアをそれぞれにご紹介をさせていただいておりますけれども、最初に開いたところに古代、中世、近代、現代といろいろ書いてあり、いろんなその時代の日本遺産が長野県内で見られますよということでご紹介をさせていただいております。基本的に日本遺産というところにターゲットを当てておりますけれども、こういったことで各地が連携する形で、長野県内にお客様を呼び込めればということで企画したものでありまして、今後また、それぞれの市町村と連携をしながら誘客等できればいいというふうに思っているところでございます。また、日本遺産につきましては国の方の指定をいただいておりますが、いろんな事業を何もしないと指定が取り上げられるということがあって、そういった事例も既に出ておりますが、やはりそういったことのないように、それぞれの日本遺産がそれぞれ努力するのはもちろんでありますけれども、長野県内には四つの日本遺産がございますので、しっかりと連携をする中でやっていければと、そして活性化できればと思っておりますので、何とぞよろしくお願いを申し上げます。そんなことを申しあげてご紹介とさせていただきますよろしく申し上げます。

(小泉市長会副会長)

ありがとうございました。続けて、飯山市さんから野焼きなどの林野火災予防に関してご発言ください。

(伊東飯山市副市長)

はい、飯山市副市長の伊東ゆかりと申します。本日、江沢市長の代理で参りました。お時間を頂戴して恐れ入りますが２点発言をさせていただきたく存じます。まず一点目でございます。林野火災注意喚起時等の県の広報の強化についてお願いいたします。飯山市では３月以降、岳北消防本部から防災無線やホームページ、それに伴う SNS で林野火災の注意喚起及び消防車による巡回パトロールを行っておりますが、４月中旬ごろまでの野焼き件数が５件、うち１件は死者がでております。空気が乾燥していたり、雨が少ないときには、住民が野焼きをやめようと思えるような広報について、県にもぜひ工夫をいただき、お力添えをいただきたいと思っております。２点目でございます。柏崎刈羽原発と安全確保の対策についてでございます。県内及び東北北海道で強い地震が発生をしておりますが、飯山市などの北信３市村は、柏崎刈羽原発から５０キロの圏内にありまして、稼働中の柏崎刈羽原発にもしもの事故が起きたらと思うと気が気ではございません。今年の１月１５日、東電幹部が阿部知事を訪問された。東京電力柏崎刈羽原発原子力発電所の安全対策に関する意見交換の折、知事からは、防災上での住民の安全安心の確保の結論については、触れられていないというご指摘があったというふうに伺っております。新潟県では、原発から３０キロ圏内にある７の市町村が、いずれもこれ豪雪地でございますけれども、協議会を立ち上げて、住民の安全対策等について、整備の

申し入れを行っております。長野県内の原発に近い市として、有事の際の避難計画、避難行動を含め、飯山市もどのようにしたらよいのかということをいろいろと考えておるところでございますけれども、国及び県からのご指導をいただきましたらありがたく存じます。以上２点について発言をさせていただきました。どうぞよろしくお願い申し上げます。

(小泉市長会副会長)

ありがとうございました。ただいまの件に関して、市長の皆さんから、それぞれの市の状況等、何かご発言はございますか。

(発言は無く)

(小泉市長会副会長)

ありがとうございました。あまり時間はございませんが、市長の皆さんから、この機会に他にも何かご発言はございますか。

(発言は無く)

(小泉市長会副会長)

ご発言がございませんので、「事務局提出議題」を終了いたします。

(小泉市長会副会長)

ここで、14 時 25 分まで、休憩とします。なお、この後の県からの施策説明以降は、非公開とさせていただきますので報道の皆さんはご退出ください。なお、16 時 15 分から予定している「知事との意見交換」につきましては、冒頭のみを公開とします。

***** ここから非公開 *****

(3) 県からの施策説明

***** ここから冒頭のみ公開 *****

7 知事との意見交換(16:15)

(福田事務局長)

それでは、ここからは「知事との意見交換」に移りたいと思います。あらかじめ申し上げます。報道の皆様には、冒頭のみ取材とさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

意見交換に先立ち、小泉副会長からごあいさつを申し上げます。

(小泉市長会副会長)

阿部知事をはじめ、県の関係部課長さん方には、たいへんご多忙の中、市長会総会にご出席いただき、誠にありがとうございます。この「知事との意見交換」につきましては、全ての市長が集まるこの機会に開催し、これまで様々なテーマについて意見交換させていただいております。現場の最前線にいる市長の意見をお汲み取りいただき、これまでも真摯なご対応をいただいておりますことに、改めて御礼申し上げます。本日の意見交換は、今後、県と市町村が足並みを揃え、共に取り組むべきテーマとして、「地域未来戦略」について意見交換をさせていただきます。私ども、地方から「強い経済」を実現するためにも、本日の意見交換が有意義なものとなることをご祈念申し上げ、ごあいさついたします。

(福田事務局長)

ありがとうございました。次に、阿部知事から、ご挨拶をいただきたいと存じます。

(阿部長野県知事)

はい、それでは一言ご挨拶申し上げたいと思います。まずは市長会、各市長の皆様には、日頃から長野県政、大変ご支援ご協力いただいておりますことに心から感謝申し上げます。また、それぞれの地域の発展のために日夜ご尽力いただいておりますことに心から敬意を表したいと思います。先だって震度5の地震が発生しました。大町市をはじめ、被災された地域の皆様方には、改めてお見舞いを申し上げたいと思います。東北でも地震があつて、全国知事会でも連絡本部を立ち上げておりますが、これ以上地震が連続して起きないということを今回は願っているところであります。引き続き、災害に強い県をどうつくるかということについては、また皆さんと力を合わせて取り組んでまいりたいと思いますのでよろしくお願いいたします。また、最近の状況としては中東情勢を巡って、いろんな分野に影響が出ている。あるいは、今後様々な影響が出るということで懸念を持たれている関係の皆様、事業者の皆様いらっしゃるわけですので、この問題も、我々県としてもしっかりと正面から向き合っていきたいと思っております。ぜひこんな課題があるとか、こんな問題があるとか、そういうことについては我々が把握しきれてないこともあるかもしれませんので、また気になる点があれば県の方にお伝えいただければ大変ありがたいと思いますし、国でもいろんな対策を講じているところではあります。なかなか私どももメディアを通じてしかよくわからないというところもありますので、全国知事会の方で近々国の関係省庁を呼んで、どういう対策対応を考えているのかと、今どういう取組をしたのかということについても、ヒアリングをしていきたいと思います。また必要な情報があれば、皆様とも共有していきたいと思っております。あと、今、全国的な課題として、人口減少の問題、ジェンダー平等の問題など、いろんな問題が知事会としても取り組んでいく課題として掲げていますけれども、一つ大きな課題だと私が思っているのは国と都道府県と市町村の役割分担の問題でありま

す。今、第 34 次地方制度調査会が立ち上がって、私もメンバーとして参画をしているところではありますが、ともすると、通り一遍の議論になりかねないなというふうに思っ
て心配をしていますので、私の方からは、最初の総会のところでは、責任なき国と、権限
なき地方なる、やや過激な言い方をさせていただいて、やはり本来の対等協力の国と地
方の関係性はどうかあるべきなのか。そういうことをぜひ踏み込んだ検討をしていただく
ことが必要ではないかということで問題提起をさせていただいているところでもあります。
これからの入口のところで始まったばかりでありますけれども、これから市町村の皆さん
がこれから仕事をしていく上で、国との関係、あるいは我々都道府県との関係、様々
な課題、支障を補っている事案もあるのではないかと思います。またそうしたこともぜ
ひ問題意識を共有して、取り組ませていただきたいと思いますのでよろしくお願いいた
します。それから昨日は林総務大臣のところに訪問させていただいて、全国知事会にお
いて地方自治、民主主義の確立に向けた研究会なるものをやってきて、報告書をまとめ
たので、それは大臣のところにお持ちをして、国会あるいは政府としてぜひお取り組
みいただきたいということでお願いをしてきました。内容はいわゆる選挙制度のあり方
でありまして、これ議員定数をどうするかとかというものとは全く違う話で、一つは被
選挙権年齢をこれ我々地方は若者活躍ということで各市でも取組されていると思いま
すけれども、知事選挙に出ようと思ったら 30 歳だと、18 歳で選挙権が与えられてい
るのに 12 年間待たないと自分は投票できるけど立候補ができないということが本当に
いいのかという、被選挙権年齢の引き下げの議論はぜひ進めていただく必要があるの
ではないかといったようなこと、あるいは昨今の SNS を巡って、非常に誤った情報とか、誹
謗中傷とか、こうしたことで、ある意味選挙の公正さが歪められてしまっている部分
があるのではないかと、ご存知のとおり公職選挙法は昔ながらの選挙のやり方は、非常
に細かくルールが決まっているわけですが、SNS についてはほとんどルールらし
いルールがないというのが実情でありますので、そういう意味ではこうしたものにつ
いて適切な規制のあり方も考えていただくことが重要ではないか。また、非常に選挙
の投票率が下がってきています。これ我々選挙という立場だと選挙やった後に、投票
率下がってどう思いますとか候補者に聞かれても困るなということでもありますけれ
ども、例えば来年の統一地方選挙ですけれども、統一地方選挙の統一のリズムも今、全
国的には 3 割弱まで下がってきています。これ市町村合併があったり、議会の解散があ
ったり、首長の途中での辞職があったり、いろんなことがあって、どんどん分散して
きていますけれども、またこれもう 1 回 4 年に 1 回の再統一をするのがいいのかどう
かという議論ありますけれども、例えば 1 年の中でもこの時期とかも地域とか、そ
ういう形での検討も必要なのではないかというようなことも問題提起させていただ
いています。合区の問題をはじめ、まだまだいろいろ課題ありますけれども、改め
て、この民主主義の基本が、やはり選挙制度であります。選挙制度、今までど
ちらかというと、流れを見ているとお金のかからない選挙にしようということに
かなり力点をおいて、様々な制度改正を行われてきた感がありますけれども、ぜ
ひもう 1 回、戦後 80 年経って、民主主義を実質的なものにするためにはどんな
ことが必要なのかということを、まず国会、政府で検討いた

だきたいという提案をさせていただいております。地方自治、民主主義この選挙制度の問題だけではなくて、様々な課題がありますが、まずは市長会の皆様方と、個別の課題、そして今申し上げたような日本全体で考えるべき大きな課題、両方とも共有をさせていただきながら、何よりも私達長野県に暮らす皆さんが、どうすれば幸せになるかということを考えつつも、しかしながら国と地方の関係とか、選挙制度とか、こうしたものがかなり影響を与えることは間違いありませんので、そうした大きな視点も持ちながらぜひ県政を進めていきたいと思ひますし、ぜひ引き続きのご協力ご支援、そしてまたいろいろな問題提起を頂戴できればありがたいというふうに思っております。今日は、地域未来戦略、地方創生から地域未来戦略へということで、国のいわゆる地方創生の取組の力点が、だいぶ強い経済にシフトをしてきている状況であります。こうした状況の中で、この地域未来戦略に今、県としてどう向き合っていこうかということをお話させていただき、この件についても、例えば各市の皆さんと一緒に取り組んでいかなければいけないというふうに思っておりますので、今日は忌憚のないご意見をいただければありがたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。新しくメンバーに加わられた斉藤市長さんをご当選おめでとうございます。市長会全体の皆様方と引き続き、しっかり結束協力して長野県進めていきたいと思ひますのでどうぞよろしくお願いいたします。

(福田事務局長)

ありがとうございました。それではここで、報道の皆様はご退出ください。

***** ここから非公開 *****

8 閉会 (17:10)